

# 水谷さん(名経大)全国初V

名経大市郵高(千種区)三年の水谷運穂さん(ニ)が、本年度の全国商業高校英語スピーチコンテストで初優勝した。将来は空港で語学力を生かした仕事に就くのが目標で、大きな励みになったという。「うれしさのあまり、泣いてしまった」と優勝の瞬間を振り返った。

(伊藤隆平)

名古屋国際学園(守谷さん。小、中学校はべたり、英語が得意な山区)の幼稚園に通公立だったが、洋楽を姉の幸穂さん(ニ)に教わったりして、英語の学習を独学で続けた。

同じスピーチコンテストで優勝経験のある幸穂さんの背中を追った。一年生では県予選止まりだったが、二年生になると才能が開花。全国大会でいきなり準優勝した。今回は頂点を目指して、最後の挑戦に臨んだ。

コンテストでは、主催者側の用意した三分間のスピーチを暗記。発音や抑揚も審査され



トロフィーを手に大会を振り返る水谷運穂さん(千種区の名経大市郵高)

## 「語学磨き空港で働きたい」

るが、大事なものはいかに気持ちを入れて話すかだ。「企業と人」がテーマの内容で、社員の姉や市郵高の先生が特訓に寄り添ってくれた。自分の声を録音し、聞き直して練習を繰り返したという。

昨年十月の県大会で優勝。たった一人の県代表の座を勝ち取り、今年一月十三日に東京で開かれた全国大会へ。前日の夜中まで練習に付き合ってくれた姉も仕事を休んで応援に駆け付けた。

本番では、舞台上立つと自然に緊張が解け、自分で原稿を書いたかのような滑らかなスピーチが口から流れ出たという。

市郵高を卒業後は、名古屋学院大の外国語学部で英語に磨きをかけてと決めている水谷さん。トロフィーに負けないくらいに目を輝かせ、「いつか空港のフロアで英語を話し、海外から来た人たちを案内したい」と話した。